



2022年12月14日

各 位

会 社 名 の む ら 産 業 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 清 川 悦 男
(コード番号：7131 東証スタンダード)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 西 澤 賢 治
(TEL 042-497-6191)

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、2023年10月期を初年度とする3ヵ年の中期経営計画を策定しましたのでお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画の概要

(1) 対象期間

2023年10月期～2025年10月期（2022年11月1日～2025年10月31日）

(2) 基本方針

【経営理念】

人にやさしい新技術をモットーに、常に使う人の身になっての商品づくりに努め
お取引先の皆様とのビジネスを通じて社会に貢献していきます。

【中期経営方針】

経営理念に基づき、以下4つの中期経営方針を策定いたしました。

i) 既存事業の強化

- ◆ お客様や消費者のニーズに応えるため、商品・サービスの開発力・提案力の強化と品質維持向上に努め、お客様の利益や社会の発展に貢献するとともに売上と利益の増強を図る。
- ◆ 米穀用自動計量包装機の国内トップシェアを維持するとともに、アジアを中心とした海外向け売上の拡大のため現地ニーズに合った機械製品の開発と販売体制を構築する。
- ◆ 西日本市場の売上と利益の拡大のため、販売体制と仕入拠点の強化を図る。
- ◆ 物流梱包の機械と資材の商品およびサービスの強化に努め、サステナブルな社会の実現に寄与するとともに売上と利益の増強を図る。

ii) 新市場の基盤構築

- ◆ 当社が得意なチューブロール式の包装形態による、機械と包材の需要の創造活動を行い、食品やペット関連、農産物・園芸関連等の米穀市場以外の新市場への販売を促進する。
- ◆ 当社が培ったナレッジと進化するIT技術を活かし、新たなビジネスモデルに挑戦する。
- ◆ 新市場での収益促進のため、資材・設備・サービスなどの取り扱い商材の拡充・開発を図る。
- ◆ 新市場での収益促進のため、デザイン・企画・開発部門の強化を図る。

iii) 成長戦略の推進

- ◆ 既存事業の強化、西日本市場および新市場の売上と利益の増加に結び付く企業とのM&Aや業

務提携を積極的に展開し、グループ連結収益の拡大と企業価値向上を目指す。

- ◆ 「資本効率の向上」「成長に向けた戦略的投資」「財務の健全性」「安定的な株主・役職員還元」についてバランスの取れた資本政策を推進する。

iv) 組織基盤の整備

- ◆ 人員採用手法の多様化や教育・育成の強化に取り組み、働きやすい職場づくりと評価・報酬制度の見直しに努め、のむら Value を体現する人的資源の強化を図る。
- ◆ 業務の作業標準化と IT を活用した効率化を推進し、生産性の向上とリスク管理の強化を図る。
- ◆ 社会的信用の向上のため、コンプライアンス体制の維持・強化と、内部統制機能の充実をはじめコーポレートガバナンス体制の維持・強化を推進し、社会・環境問題をはじめとするサステナビリティを巡る課題に対し積極的に対応する。
- ◆ グループ全体の組織再編（一体運営の推進）に取り組み、機動的で効率的な経営を図る。

2. 数値目標

財務目標数値（連結ベース）は次の通りです。

	2022年10月期実績	2025年10月期目標
売上高	5,458百万円	7,384百万円
営業利益	375百万円	458百万円
売上営業利益率	6.9%	6.2%
ROE（自己資本当期純利益率）	18.1%	16.0%

※上記予想は、本資料公表日現在において当社が入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

3. 株主還元方針

当社では、中長期的な企業価値向上と株主への適切な利益還元の双方を図ることを重要な経営課題と認識しております。今後の成長投資に向けた内部留保を確保するとともに、連結の配当性向目標を25%程度と定め、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

4. その他

2022年12月14日に開示する2022年10月期決算説明会資料にも詳細を記載いたしますので、ご覧ください。

以上